

Good Job Week (職場体験学習)

甲斐市立竜王中学校

本校は平成17年度「キャリア教育実践プロジェクト事業」の推進指定地域（甲斐市教育委員会）内中学校の単年度指定を受け、キャリア教育を推進するための「キャリア・スタート・ウィーク・プロジェクト」としてGood Job Week（グッジョブウィーク）を実践しています。

キャリア教育の視点からの職場体験学習の在り方等を含め、Good Job Week（竜中の職場体験学習）全体計画を作成し、2年生157名全員が夏休み中（8月）に連続2日間、100以上の事業所の中から各自が選択した65の事業所で大人に混じって働く体験をしました。

今回の職場体験学習を実施するにあたり、昨年度の1年生時に保護者の職場での1日職場体験を行いました。その経験の上に、将来の進路についての学級活動、職業調査、職業講話、職業適性検査、福祉施設体験学習などを通して、職業について様々な学

習をし、その上に立って生徒自身が希望する職場での体験学習をすることができました。

早朝から市場に行つての仕入れ、暑い中で1日中ゴルフ場の草取り、実際にお客様に接する仕事、普段目に見えない裏方の仕事など、生徒にとって社会から直接学ぶことが出来た学習でした。各事業所の方々も生徒たちの体験学習に大変協力的な支援をしていただきました。

生徒たちは、この機会にそれぞれの仕事の社会における役割が認識でき、将来の目標として考え始めた者もあり、自分なりの社会人・職業人への気運が高まったこと等、大きな成果を得ることができました。このことは、中学生の早い時期からの職場体験は、働く意欲を持った健全な社会人として成長するための大切なステップであると実感できた取り組みであったと思います。



和菓子店（商品の陳列）



レストラン（水のサービス）



ゴルフ練習場（コースの除草作業）

ことぶき勸学院との交流

塩山高校

塩山高校では平成14年度より山梨ことぶき勸学院「東山梨学園」1年生の生徒とパソコンを通して交流を進めてきました。ほとんどの受講生は60歳以上なので本校生徒から見れば祖父祖母のような世代のちがう方たちと相互に理解し合うことや教えることのむずかしさを感じながらも、授業で学習したさまざまな内容を自ら直接指導することにより情報教育の重要性を理解してもらった絶好の機会としてとらえています。

本年度はことぶき勸学院1年生40名に対し、本校の情報処理研究部、情報システム科2年、3年生の生徒27名がインターネット、お絵かき、暑中見舞いの作成

などをキーボードに一度も触れたことのない方が6割近くいる中で基本的な操作方法や取り扱い等からわかりやすく、ていねいに指導をおこなっていました。

受講生は「生徒さんの優しい手ほどきにとっても嬉しく感謝です。はじめてなので大変でしたがお陰で少しパソコンのことわかりました。」本校生は「人に教えることは大変なことですが最後にありがとうと言われ嬉しかったです。」等の感想がありました。今年で4年目ですがこれからもあらゆる機会を見つけながら交流を積極的に進めていきたいと思っています。



特別支援教育コーディネーター養成研修始まる

山梨県総合教育センター

特別支援教育部

近年、小・中学校において通常の学級に在籍しているLD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）、高機能自閉症等の児童生徒に対する適切な指導及び支援が喫緊の課題となっています。

そのため、文部科学省は、平成十五年度から、「特別支援教育推進体制モデル事業」や「特別支援教育体制推進事業」を全都道府県に委嘱し、平成十九年度までに、すべての小・中学校において指導体制の整備が図られるよう取り組んでいるところです。今年度からは、幼稚園や高等学校も、この事業の対象となっています。

指導体制の整備には、「特別支援教育コーディネーター」が重要な役割を果たしています。

本県のすべての小・中学校にコーディネーターを配置するためには、概ね三百名のコーディネーターを養成する必要があります。

◇コーディネーターの役割

特別支援教育コーディネーターは、学校内の関係者や外部の関係機関との連絡調整役、保護者に対する相談窓口、校内委員会の運営や推進役を担うこと

になります。具体的には次のような活動を行います。

- 校内委員会の計画立案
 - 特別支援教育に関する情報の収集と資料の提供
 - 校内研修会の企画・運営
 - 支援を必要とする児童生徒の状況把握
 - 校内支援体制の組織作り（ティームティーチングや個別指導等の時間数調整など）
 - 学年教師や担任等への助言
 - 保護者の相談や外部関係機関との連携
- などです。

◇養成に向けて

本センターでは、平成十六年度、各地域で中心的な役割を担っていた約三十二名のコーディネーターを養成しました。

平成十七年度からは、十九年度までの三年間で各校で活躍していただく約三百名のコーディネーターを養成する計画です。

今年度は、六十五名の先生方がコーディネーターの役割や具体的な支援の

方法を熱心に研修しています。研修の内容を習得していただき、一日も早く校内支援体制の整備が図られ、児童生徒一人一人のニーズに応じた学習活動が展開されることを期待しています。



(研修風景)

国際連合についての情報の探し方

山梨県立図書館

世界の平和と安全のための国際組織「国際連合」について調べてみましょう。

1. 国際連合の基礎知識がわかる情報を探してみましょう

まず、『総合百科事典ポプラディア』（ポプラ社）、『現代用語の基礎知識 2005年版』（自由国民社）、『イミダス 2005年版』（集英社）などの百科事典や現代用語事典で、国際連合がなぜ組織されたのか、どんな活動をしているのかなど、国際連合の基礎知識を調べてみましょう。

2. キーワードをピックアップ

辞書類で調べた基礎知識を参考に、調べる時の手がかりとなる言葉、キーワードを集めましょう。

（例）「国際連合」「国連」「国際機関」「平和維持活動」「国際児童基金（ユニセフ）」

3. 図書を探してみましょう

(1) 図書館資料検索システムで調べてみましょう。

山梨県立図書館ホームページ (<http://www.lib.pref.yamanashi.jp/>) から県立図書館と県内の図書館が持っている資料を探することができます。

(2) 図書館の書架を見て探してみましょう。

図書館では、1冊ごとにテーマを表す分類番号をつけ、この数字の順で本を並べています。国際連合に関連する分類をチェックして該当する棚を見てみましょう。



分類番号	テーマ	本の例
319	外交・国際問題	『国際理解に役立つ世界の紛争を考える2 国際連合』（文溪堂・2002）
329.3	国際法・国際機関	『21世紀をつくる国際組織事典』1～7（岩崎書店・2003） 『国際連合の基礎知識』（世界の動き社・2002）

4. 新聞記事を探してみましょう

新聞の1ヶ月分をまとめた「縮刷版」には目次があります。「国際」「国連・国際機構」などの項目から記事を探してみましょう。新聞データベースでは、キーワードを入力し記事を検索してみましょう。

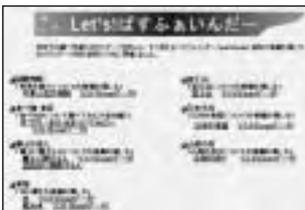
5. 雑誌記事で探してみましょう

国立国会図書館ホームページ (<http://www.ndl.go.jp/>) の「雑誌記事索引検索」を使い、過去の雑誌記事を探してみましょう。記事本文を読みたい場合は、山梨県立図書館ホームページの「県内図書館雑誌・新聞一覧」から読みたい雑誌を持っている図書館を探し、近くの図書館から取り寄せてみましょう。

6. インターネットで情報収集

代表的な検索エンジン「Google」「YAHOO! JAPAN」などでキーワードを使い検索してみましょう。国際連合について詳しく知りたい場合は、日本にある「国際連合広報センター（UNIC）」 (<http://www.un.org/ja/>) のサイトを見てみましょう。

「Let's!ばすふぁいんだー」公開のお知らせ



現在、山梨県立図書館ホームページ内に「Let's!ばすふぁいんだー」ページを公開しています。未掲載テーマも含めた「調べ方マニュアル」の詳細版と内容紹介つき資料リストを掲載し、PDFファイル及びExcelファイルにて掲載しています。自校図書館用に加筆・修正し、総合的な学習や調べ学習にぜひお役立てください。

<http://www.lib.pref.yamanashi.jp/refjirei/bunken/path.html>

山梨の文化財

県指定有形文化財

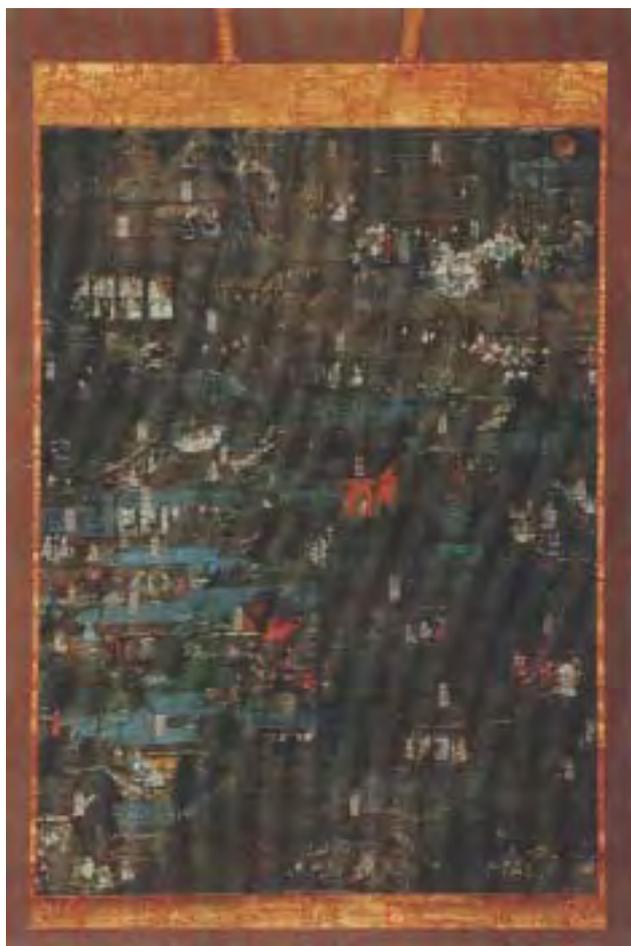
絹本着色法然上人絵伝

(平成十七年五月二日指定)

法然は長承二年(一一三三年)、美作の国(岡山県)に生まれ、父の遺言により出家し、比叡山で修業し、浄土宗の開祖となった僧です。

この法然上人の生涯を伝記として表した絵巻(絵伝)は後に数多く作られ、布教の一環として絵解きによる教化活動に用いられました。

本絵伝は、元々は勝沼町の万福寺に伝わったものです。二幅からなり、第一幅



第一幅

(日輪幅)は法然の前半生である生誕・出家・修学・談義・教化等発展の相を、第二幅(月輪幅)は、専修念仏停止・追放・配流・赦免・最後の布教・往生等受難の相を収録するという顕著な対比が認められます。

特に数百人に及ぶ人物は極めて克明に描かれており、その細密な描写と鮮烈な彩色から、法然上人絵伝の最古に属する可能性が高く、価値の高い作品です。

主な行事予定

県立図書館

開館企画展
「やまなしの道祖神祭り」

10/15～12/11

県立美術館

南仏モンペリエ
ファールブル美術館蔵

魅惑の17-19世紀フランス絵画展
9/17～11/3

県立考古博物館

特別展

「縄文時代の暮らし

～山の民と海の民～
9/17～11/13

県立文学館

山の文学展
日本人 美とこころのふるさと
9/23～11/27

表紙を飾る



県立かえで養護学校
高等部3年
辻 静佳

作品名:「静物(油彩909×727)」

<作品の紹介>

目の前においてある物の確かな存在を自分なりの表現で表そうという意欲が感じられる作品です。よく見ること、発見した良さや美しさが作品の全体から伝わってきます。

<指導者:松下めぐみ教諭>

「声かけ あいさつ」みんなで実践を!!

◆教育に関する疑問、質問等がありましたらお気軽に E-mail 又は FAX して下さい。
アドレス: kyouikusunom@pref.yamanashi.lg.jp FAX: 055-223-1744